

第5回懇談会意見に対する補足説明資料

平成20年9月29日

太田川河川事務所

■補足資料1: 既往洪水における降雨分布

- ・太田川では30年に1回程度の頻度で計画高水流量規模の洪水が発生
- ・太田川下流に大きな流量をもたらす洪水は、北部から西部にかけて強い降雨

主な洪水と洪水被害

嘉永3年(1850.7.7)
流量: 12,700m³/s(玖村地点、氾濫戻しによる推定流量)
堤防決壊: 22ヶ所、被災家屋: 174戸
 明治43年 国の臨時治水調査会において第二期河川に指定
大正8年7月4日 被災家屋: 2,611戸
大正12年6月21日 被災家屋: 不明
昭和3年6月25日 被災家屋: 916戸以上
 昭和7年 太田川改修計画 西原4,500m³/s

昭和18年9月20日(台風26号)
流量: 約6,700m³/s(西原)
被災家屋: 17,632戸

昭和20年9月18日(枕崎台風)
 流量: 5,900m³/s(西原地点、氾濫後流量)
 水害区域面積: 10,651町歩
 被災家屋: 50,028戸(広島県内)

昭和23年 太田川改修計画改定 玖村6,000m³/s
昭和40年 太田川放水路通水開始(S7着手、S19中斷、S26再開)

昭和47年7月(梅雨前線)
流量: 6,800m³/s(実績流量)
水害区域面積: 200ha、被災家屋: 1,000戸

昭和50年 太田川水系工事実施基本計画
 玖村 基本高水のピーク流量 12,000m³/s
 計画高水流量 7,500m³/s

昭和50年 高瀬堰完成(S47着手)

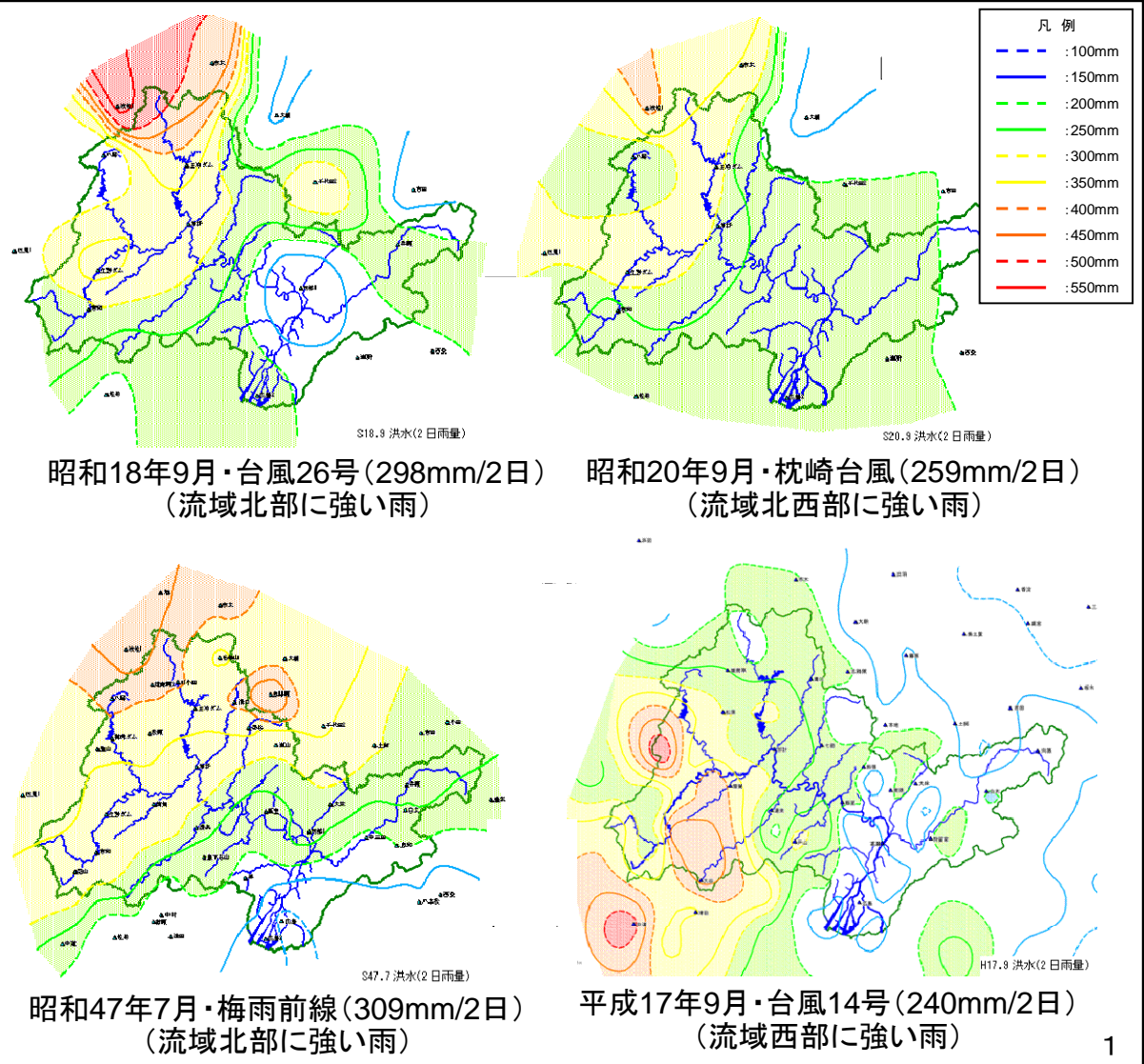
平成11年6月29日(梅雨前線)
 流量: 3,800m³/s(実績流量)
 水害区域面積: 不明、床上浸水 110棟、床下浸水 193棟

平成14年 温井ダム完成(S52着手)

平成17年9月7日(台風14号)
流量: 7,200m³/s(実績流量)≒計画高水流量
水害区域面積: 130ha、
床上浸水 247棟、床下浸水 154棟

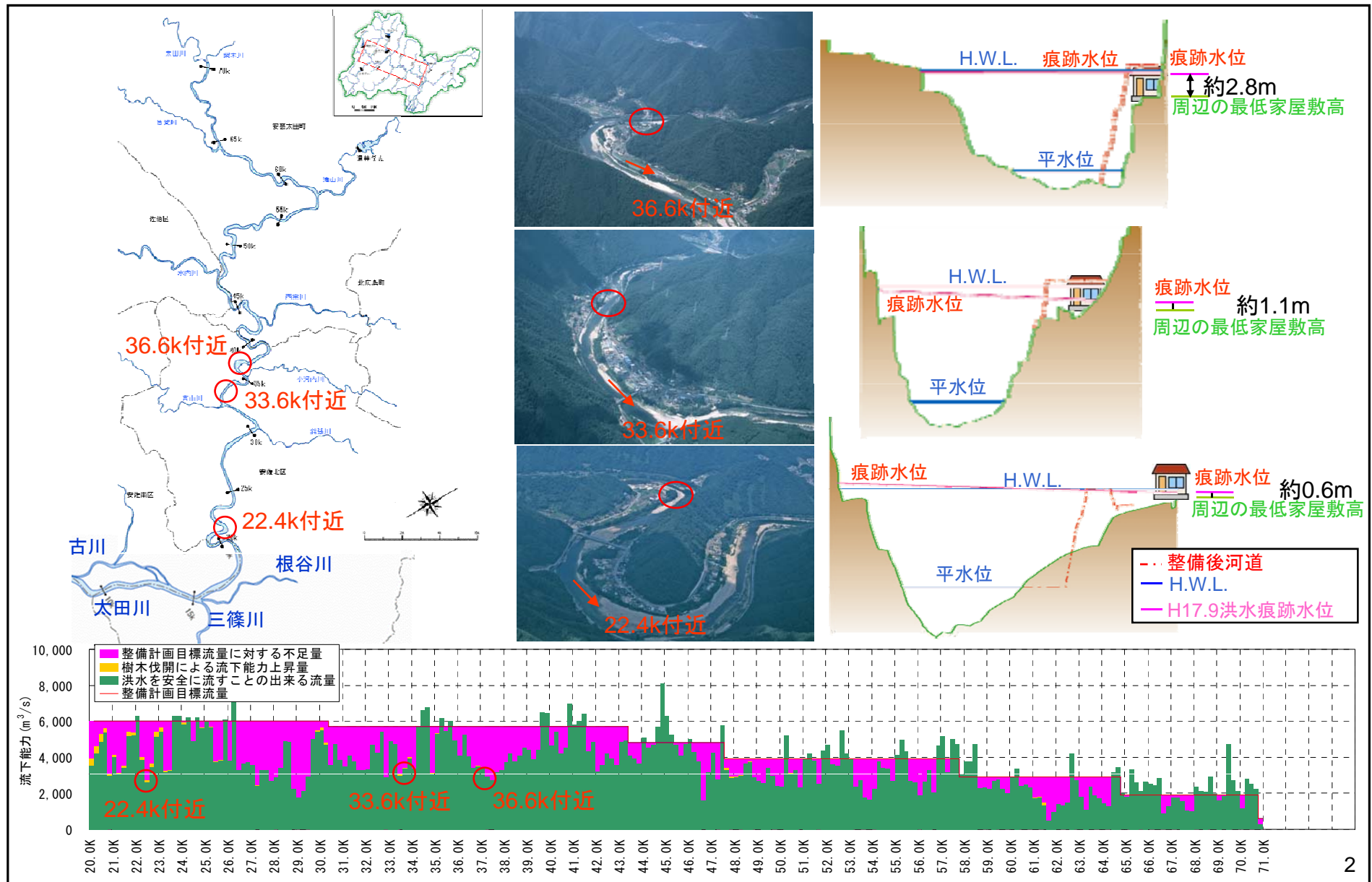
約30年毎に大水害

主要洪水の降雨分布



■補足資料2: 中流部における代表的な横断形状と洪水時水位

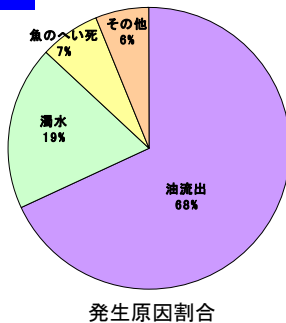
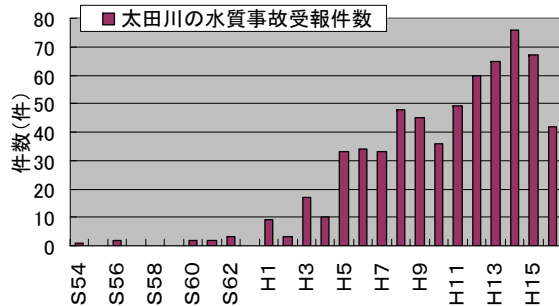
- ・H17.9月洪水では、中流部において床上・床下浸水被害が多数発生
- ・現状では、水位がH.W.L.以下であっても家屋の浸水被害が発生する箇所が存在



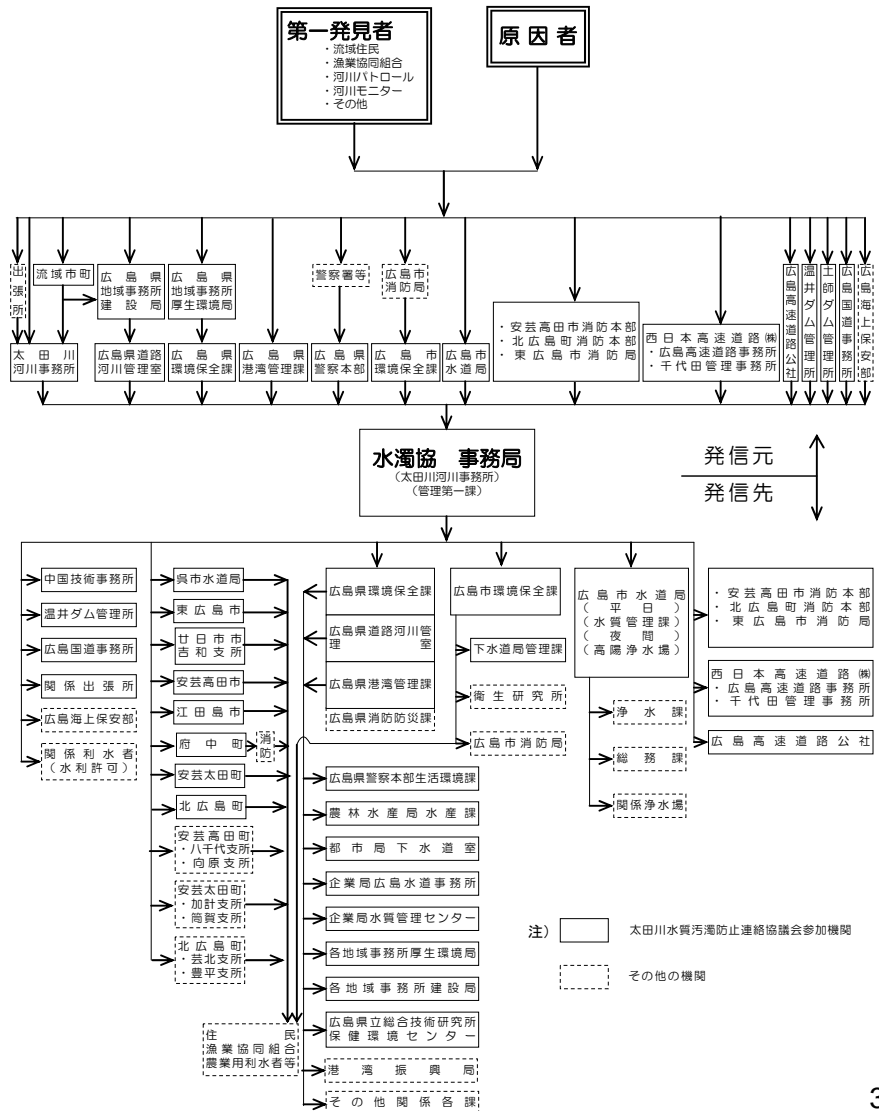
■補足資料3:水質事故と対応事例

- ・H4年にシアン検出・魚の大量死、H6年に重油流出の水質事故が発生。
- ・水質事故発生時には、関係機関からなる水質汚濁防止連絡協議会により対応

水質事故報告件数



水質事故発生時の連絡体制



H4年シアン検出・魚の大量死

【原因】魚が大量に死んでいると通報を受け、水道局が採水調査を行った結果シアンを検出。原因は不明。

【影響】・シアンの検出、断水により住民はパニック状態

- ・断水約11万3千世帯、企業の生産停止・調整5社
- ・約600匹の死魚を回収

H6年重油流出事故

【原因】積雪により金属パイプのが断されスキー場から重油1万リットルが流出

【対策】スキー場からの流出阻止、王泊ダムへの流入阻止、河川区域内の残存重油の回収の3点を柱に関係機関にて対策を実施。



吸着マットとオイルフェンス展開状況



高圧ポンプによる河川清掃